

令和6年度

入学者選抜要項

令和5年7月

新潟大学

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

求める学生像

新潟大学は、自律と創生を全学の理念とし、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを全学の目的としています。

この理念の実現と目的の達成のために、学位授与の方針に掲げるとおり、教育の基本的目標を、新潟大学の総合力を活かした学位プログラムを通じて、高い見識と良識をもって社会や時代の課題に的確に対応して、課題解決のために活躍できる人材を育成することに置いています。

以上の教育の基本的目標を実現するために、次に掲げるような資質豊かな学生を広く求めます。

- ・ 修学に適う、確固たる学力を身に付け、新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- ・ 人間性を大事にし、広い視野からものごとを考えようとする人
- ・ 地域社会や世界の様々な場面で役に立ちたいと思っている人

上記の求める学生像に加え、学士課程においては、高等学校教育までの全般にわたる基礎学力を有し、当該学部の教育目標・教育内容を理解し、そこで必要とされる基礎的能力と勉学への強い意欲を有する人を求め選抜します。

入学者選抜の基本方針

各学部、プログラム等で定める基本方針に従った選抜を行います。

なお、障がい者等の受け入れ方針については、障がいのある入学志願者に対し、障害者基本法や障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の趣旨に十分留意するものとします。

入学までに身に付けてほしいこと

広く社会に目を向け、興味を持ったことや問題と感じたことなどについて、まとまった知識や情報を集めて自分の考えを形成し、論理的な文章にまとめる力を高めるとともに、他者とのコミュニケーションを大切にして、自分とは異なるものの見方・考え方に触れ、広い視野を持てるようにしてください。

【各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等】

各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等は、本学ホームページの「受験生特設サイト」→「入試情報」→「アドミッション・ポリシー」を参照してください。

<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/policy/>

【各学部の「採点・評価基準」、「合否判定基準(判定基準，同点者の取扱い)」について】

各学部の「採点・評価基準」、「合否判定基準（判定基準，同点者の取扱い）」は、本学ホームページの「受験生特設サイト」→「入試情報」→「採点・評価・合否判定基準」を参照してください。

<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/criteria/>

本選抜要項の内容に変更が生じた場合は以下のとおりホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特にご注意願います。

新潟大学ホームページ <https://www.niigata-u.ac.jp/>

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



目 次

令和6年度入学者選抜からの変更点について	i ~ ii
1 入学定員（募集人員）	1
2 一般選抜出願資格	5
3 一般選抜入学者の選抜方法	6
(1) 入学者選抜の実施教科・科目等	7
(2) 教育学部における実技検査の課題・範囲	16
(3) 大学入学共通テストの成績の取扱い	17
(4) 障がい等を有する入学志願者の事前相談	17
(5) 出願期間，学力検査等期日及び合格者の発表	18
(6) 欠員の補充方法	18
(7) 総合型選抜	19
(8) 学校推薦型選抜	23
(9) 帰国生徒特別選抜	34
(10) 帰国生徒特別選抜（令和6年10月入学）	35
(11) 社会人特別選抜	36
4 2段階選抜	38
5 学生募集要項の公表	38
6 私費外国人留学生特別選抜	40
7 出願資格の確認	42
8 入試情報の提供及び開示	42

令和7年度新潟大学入学者選抜における変更について

令和7年度入学者選抜の変更における検討状況などは、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」に掲載しております。

最新情報を随時掲載しますので、ご確認ください。

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」をご覧ください。

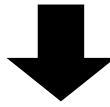
令和6年度入学者選抜からの変更点について

教育学部

●一般選抜（前期日程） 保健体育専修

変更前

区 分		実 技 検 査 課 題 ・ 範 囲		
保 健 体 育	前期 日程	下表のⅠ及びⅡ群からそれぞれ1種目、計2種目を選択してください。		
		群	種目	内容
		Ⅰ	陸上競技	ハードルと立ち5段跳
			水泳	200M個人メドレー
			器械運動	男子：高鉄棒とマット 女子：跳箱とマット
			ダンス	課題による創作と基礎技能
			体づくり運動	自由課題による一連の運動と基礎技能
			卓球	基礎技能
			バドミントン	基礎技能
		Ⅱ	バレーボール	基礎技能
			バスケットボール	基礎技能
			サッカー	基礎技能
			野球(硬式または軟式)	基礎技能
(注) *体づくり運動を選択する者のうち、手具や音楽を使う場合には、手具・CDを持参してください。 *卓球及びバドミントンを選択する者は、ラケットを持参してください。 *野球を選択する者は、グローブを持参してください。 *水泳を選択する者は、用具を持参してください。 *検査は、すべて屋内で実施しますので、体育館シューズを持参してください。				



変更後（令和6年度入学者選抜より）

区 分		実 技 検 査 課 題 ・ 範 囲		
保 健 体 育	前期 日程	下表のⅠ及びⅡ群からそれぞれ1種目、計2種目を選択してください。		
		群	種目	内容
		Ⅰ	陸上競技	ハードルと立ち5段跳
			水泳	200M個人メドレー
			器械運動	<u>マット運動と跳び箱運動</u>
			ダンス	<u>自由課題による創作（3分以内）と基礎技能</u>
			体づくり運動	自由課題による一連の運動と基礎技能
			卓球	基礎技能
			バドミントン	基礎技能
		Ⅱ	バレーボール	基礎技能
			バスケットボール	基礎技能
			サッカー	基礎技能
			野球(硬式または軟式)	基礎技能
(注) *水泳を選択する者は、用具を持参してください。 *ダンスを選択する者のうち、「自由課題による創作」で音楽を使う場合は、CDを持参してください。 *体づくり運動を選択する者のうち、手具や音楽を使う場合には、手具・CDを持参してください。 *卓球及びバドミントンを選択する者は、ラケットを持参してください。 *野球を選択する者は、グローブを持参してください。 *検査は、すべて屋内で実施しますので、体育館シューズを持参してください。				

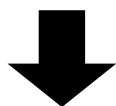
※「器械運動」、「ダンス」の内容が変更

医学部保健学科

●社会人特別選抜

変更前

区 分	小論文	面 接	合 計
看護学専攻	60	30	90
放射線技術科学専攻	60	60	120
検査技術科学専攻	60	60	120



変更後（令和6年度入学者選抜より）

区 分	小論文	面 接	合 計
看護学専攻	60	<u>60</u>	<u>120</u>
放射線技術科学専攻	60	60	120
検査技術科学専攻	60	60	120

※看護学専攻の面接試験の配点に変更

1 入学定員（募集人員）

学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	募 集 人 員					
			一 般 選 抜		特 別 選 抜			
			前期日程	後期日程	綜 合 型 選 抜	学 校 推 薦 型 選 抜	帰国生徒	社 会 人
人文学部	人 文 学 科	210人	140人	40人		30人	若干人	若干人
教育学部	学校教員養成課程	180人	120人			60人	若干人	
法学部	法 学 科	170人	85人	35人		50人	若干人	
経済科学部	綜 合 経 済 学 科	350人	180人	80人	30人	60人	若干人	若干人
理学部	理 学 科	200人	130人	30人	5人	35人	若干人	
医学部	医 学 科	140人	80人			60人		
	保 健 学 科	160人	90人	18人		52人	若干人	若干人
	計	300人	170人	18人		112人		若干人
歯学部	歯 学 科	40人	24人	8人		8人	若干人	
	口 腔 生 命 福 祉 学 科	20人	15人			5人		
	計	60人	39人	8人		13人		
工学部	工 学 科	530人	320人	50人	27人	133人	若干人	
農学部	農 学 科	175人	111人	30人		34人	若干人	
創生学部	創 生 学 修 課 程	65人	45人		20人			
合 計		2,240人	1,340人	291人	82人	527人		

※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員は、令和6年度医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続き等を医学部医学科において計画しており、現時点では未定であることから、令和5年度入試の状況を記載しています。令和6年度入試における医学部医学科志願者は、令和5年11月公表の学生募集要項（一般選抜・学校推薦型選抜）を確認のうえ、出願してください。

（備考）

- 1 総合型選抜（工学部）の合格者数が募集人員に満たない場合、その生じた欠員分については、学校推薦型選抜Ⅰ型（工学部）の募集人員に加えます。
- 2 総合型選抜（経済科学部，理学部，創生学部），学校推薦型選抜（各学部）において選抜の結果、欠員が生じた場合は、その欠員分を当該学科（課程）の一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
- 3 帰国生徒及び社会人特別選抜における募集人員若干人は、当該学科（課程）の入学定員に含みません。ただし、歯学部の帰国生徒特別選抜における募集人員若干人は、一般選抜の前期日程の募集人員に含みます。
- 4 帰国生徒特別選抜（令和6年10月入学）は、人文学部，法学部，経済科学部及び農学部で実施します。選抜方法については、35ページを参照してください。

- 5 教育学部は、専修ごとに募集します。各専修の前期日程、学校推薦型選抜の概ねの募集人員は、次のとおりです。

課程	コース・専修		前期日程	学校推薦型選抜	計
学校 教員 養成 課程	学校教育 コース	学校教育学専修	9人	6人	15人
		教育心理学専修	9人	4人	13人
		特別支援教育専修	8人	5人	13人
		計	26人	15人	41人
	教科教育 コース	国語教育専修	14人	6人	20人
		社会科教育専修	16人	8人	24人
		英語教育専修	7人	5人	12人
		数学教育専修	10人	7人	17人
		理科教育専修	12人	6人	18人
		家庭科教育専修	6人	2人	8人
		技術科教育専修	7人	3人	10人
		音楽教育専修	8人	1人	9人
		美術教育専修	6人	2人	8人
		保健体育専修	8人	5人	13人
計	94人	45人	139人		
合	計	120人	60人	180人	

- 6 経済科学部は、出願時に「大学入学共通テストの利用教科・科目」を「I型（共通テスト地歴・公民重視）」又は「II型（共通テスト理科重視）」（10ページ参照）から選択してください。選択した利用教科・科目の成績を入学者選抜の判定に用います。

- 7 理学部は、7つの主専攻プログラム（数学、物理学、化学、生物学、地質科学、自然環境科学、フィールド科学人材育成）からなります。

- (1) 前期日程では、主専攻プログラムにかかわらず、試験科目とその評価の重点の異なる次の3つの選抜方法により募集します。概ねの募集人員は、次のとおりです。なお、選抜方法ごとの試験科目や配点は11ページを参照してください。

主専攻プログラムは、2年次第1学期終了時に決定します。

学科	主専攻プログラム	前期日程		
		理数重点選抜	理科重点選抜	野外科学志向選抜
理学科	数学プログラム	85人	25人	20人
	物理学プログラム			
	化学プログラム			
	生物学プログラム			
	地質科学プログラム			
	自然環境科学プログラム			
	フィールド科学人材育成プログラム			

また、野外科学志向選抜においては、フィールドワークや野外を対象とする自然科学分野に対する意欲と適性を面接によってはかります。

- (2) 後期日程，総合型選抜では，主専攻プログラムにかかわらず一括して募集します。主専攻プログラムは，2年次第1学期終了時に決定します。
- (3) 学校推薦型選抜では，主専攻プログラムごとに募集します。概ねの募集人員は，次のとおりです。なお，「フィールド科学人材育成プログラム」の募集は行いません。

学科	主専攻プログラム	学校推薦型選抜
		募集人員
理学科	数学プログラム	7人
	物理学プログラム	7人
	化学プログラム	5人
	生物学プログラム	5人
	地質科学プログラム	5人
	自然環境科学プログラム	6人

- 8 医学部保健学科は，専攻ごとに募集します。専攻別の前期日程，後期日程，特別選抜の募集人員は，次のとおりです。

専攻	区分	募集人員					
		前期日程	後期日程	学校推薦型選抜	帰国生徒特別選抜	社会人特別選抜	計
看護学専攻		46人	6人	28人	若干人	若干人	80人
放射線技術科学専攻		23人	5人	12人	若干人	若干人	40人
検査技術科学専攻		21人	7人	12人	若干人	若干人	40人
計		90人	18人	52人			160人

- 9 工学部は，工学科全体で入学者選抜試験を実施します。前期日程（共通テスト重視型，個別学力検査重視型），後期日程，総合型選抜，学校推薦型選抜（Ⅰ型，Ⅱ型）の募集人員は次表のとおりです。なお，各選抜区分の分野・プログラムごとの募集人員は，概ねの人数です。

- (1) 前期日程では，試験教科・科目の配点が異なる2つの選抜方法のどちらかを選び，5つの分野のうち，第1志望から順に最大第5志望まで選んで出願することができます。2つの選抜方法でそれぞれ，成績が上位の者から順に，合格者を決定します。第1志望分野の合格者が募集人員を大きく超えている場合には，順次第2志望以下の分野での合格となります。
- (2) 後期日程では，5つの分野のうち，第1志望から順に最大第5志望まで選んで出願することができます。成績が上位の者から順に，合格者を決定します。第1志望分野の合格者が募集人員を大きく超えている場合には，順次第2志望以下の分野での合格となります。
- (3) 前期日程（共通テスト重視型，個別学力検査重視型），後期日程ともに，志望順位をつけて複数の分野に出願することができますが，志望順位が上位であることをもって合計得点が上位の者より先に当該分野に合格となることはありません。
- (4) 総合型選抜，学校推薦型選抜（Ⅰ型，Ⅱ型）では，主専攻プログラムごとに募集し，合格者を決定します。なお，総合型選抜で不合格となった場合，学校推薦型選抜の要件を満たす者は，学校推薦型選抜Ⅰ型もしくはⅡ型に出願できます。

学科	分野	主専攻プログラム	募集人員	一般選抜					特別選抜			
				前期日程			後期日程	小計	総合型選抜	学校推薦型選抜Ⅰ型	学校推薦型選抜Ⅱ型	小計
				共通テスト重視型	個別学力検査重視型	計						
工学科	力学分野	機械システム工学プログラム	530人	63人	16人	79人	12人	91人	4人	7人	15人	26人
		社会基盤工学プログラム							2人	4人	4人	10人
	情報電子分野	電子情報通信プログラム		75人	18人	93人	15人	108人	4人	7人	11人	22人
		知能情報システムプログラム							3人	7人	12人	22人
	化学材料分野	化学システム工学プログラム		63人	16人	79人	13人	92人	4人	7人	10人	21人
		材料科学プログラム							3人	4人	7人	14人
	建築分野	建築学プログラム		21人	5人	26人	4人	30人	2人	3人	4人	9人
	融合領域分野	人間支援感性科学プログラム		35人	8人	43人	6人	49人	2人	14人	5人	21人
		協創経営プログラム							3人	2人	10人	15人
	合 計			257人	63人	320人	50人	370人	27人	55人	78人	160人

10 農学部は、5つの主専攻プログラム（応用生命科学，食品科学，生物資源科学，流域環境学，フィールド科学人材育成）からなります。

(1) 一般選抜では、主専攻プログラムにかかわらず一括して募集します。

主専攻プログラムは、2年次進級時に決定します。

(2) 学校推薦型選抜では、次表のとおり募集し、合格者を決定します。選抜区分Ⅱ型において主専攻プログラムは、2年次進級時に決定します。

学科	主専攻プログラム	高等学校の範囲等	選抜の区分	募集人員※1
農学科	応用生命科学プログラム	農業，工業，水産および家庭に関する学科並びに総合学科※2	Ⅰ型	2人
	食品科学プログラム			2人
	生物資源科学プログラム			5人
	流域環境学プログラム			4人
	農学科一括 { 応用生命科学プログラム 食品科学プログラム 生物資源科学プログラム 流域環境学プログラム フィールド科学人材育成プログラム	高等学校の普通科等	Ⅱ型	21人

※1 募集人員は「概ねの募集人員」です。

※2 詳細については29ページを参照願います。

11 創生学部は、出願時に「大学入学共通テストの利用教科・科目」の科目選択型を選択してください。選抜方法ごとの試験科目や配点は14ページ及び22ページを参照してください。

(1) 前期日程では、「理系型」又は「文系型」から選択してください。

(2) 総合型選抜では、「理系科目選択型」又は「文系科目選択型」から選択してください。

科目選択型ごとの概ねの募集人員は、次のとおりです。

課程	募集人員	
	総合型選抜	
	理系科目選択型	文系科目選択型
創生学修課程	10人	10人

12 試験日程グループ間の併願について

- (1) 志願者は、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つまでの大学・学部に出願し、受験することができます。「前期—前期」、「後期—後期」の併願は認められません。
- (2) 本学の前期日程の学部・学科（課程）と後期日程の学部・学科（課程）は、併願することができます。

2 一般選抜出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
 - (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の①から⑥のいずれかに該当する者及び令和6年3月31日までにこれらに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの
- (注1) 前記(3)⑥の出願資格により出願する場合は、個別の入学資格審査を行います。詳細は、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」を参照してください。
- (注2) 一般選抜を受験する場合は、令和6年度大学入学共通テストの受験を要します。なお、受験を要する教科・科目については、7ページから15ページを参照してください。
- (注3) 特別選抜（総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒及び社会人）の出願資格については、19ページから37ページを参照してください。

3 一般選抜入学者の選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査、実技検査、面接、小論文及び出願書類により行います。学部別の入学者選抜の実施教科・科目等は、次ページ以降の(1)及び(2)のとおりです。入学者選抜の合否判定は、合否判定基準に基づき当該試験等の結果を総合して行います。

一般選抜では、学力の3要素の1つである「主体性を持って多様な人々と協働する態度」の評価について、各学部等のアドミッション・ポリシーに基づき、次のように調査書を活用することとします。

- ・面接を課さない一般選抜においては、調査書の記載を点数化せず、各学部の合否判定基準に基づき、大学入学共通テスト・個別学力検査等の結果を踏まえた上で総合的に判定します。
- ・面接を課す一般選抜においては、調査書の記載を面接における参考資料として活用します。

なお、特別選抜（総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒及び社会人）については、19ページから37ページを参照してください。

また、学部、入試種別によっては、2段階選抜を実施することがあります。2段階選抜の詳細については38ページを参照してください。

（注） 合否判定基準は、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」をご覧ください。

(1) 入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別の選抜方法等	
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地理	歴史	公民	数学	理科	外国語	総合問題 実技検査 小論文	面接		配点 合計
人文学部 210人 前期 140 後期 40 その他50	前期 2月25、 26日	国 教 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ、数Ⅱ、数Aから1 数Ⅲ、簿・会、情報から1 「物基、化基、生基、地基から2」又は「物、化、生、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫、政経から1 } 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は 〔6教科7科目もしくは8科目〕	共通テスト	100	50	(50)	100	50	100	100	50	100	100	450	学校推薦 帰国生徒 外国人 社会人 追加合格 欠員補充
	後期 3月12日			個別学力検査	200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	500				
教育学部 180人 前期 120 その他 60	前期 2月25、 26日	国 教 理 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ、数Ⅱ、数Aから1 数Ⅲ、簿・会、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 「物基、化基、生基、地基から2」 又は「物、化、生、地学から1」 もしくは ①「物基、化基、生基、地学から2」又は「物、化、生、地学から1」 ②「物基、化基、生基、地学から2」又は「物、化、生、地学から1」 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫、政経から1又は2 注1) ②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士での選択は認めない。 注2) 公民においては、「倫」と「倫・政経」及び「政経」と「倫・政経」の選択はできない。 注3) 「又は4」は、理科において「物基、化基、生基、地基」を含む科目を選択した場合のみ 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は 〔6教科7科目もしくは8科目〕	共通テスト	150	(75)	(75)	150	75	150	150	75	150	675	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
	個別学力検査			(150)	(150)	(150)	(150)	150	450							
国語教育 20人 前期 14 その他 6	前期 2月26日	国 教 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ、数Ⅱ、数Aから1 数Ⅲ、簿・会、情報から1 「物基、化基、生基、地学から2」又は「物、化、生、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2 注) 公民においては、「倫」と「倫・政経」及び「政経」と「倫・政経」の選択はできない。 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は 〔6教科7科目もしくは8科目〕	共通テスト	150	(150)	(150)	150	150	150	150	150	1050	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充		
	個別学力検査			300	300	300	250	850								
	計			計	450	(300)	(300)	300	150	450	250	1900				

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								特別の選抜方法等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題 実技検査 小論文		面接	点配 合計
教育学部 学校教育コース 学校教員養成課程	前期 2月26日	国数理外 地歴・公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 「物基・化基・生基・地学から1」又は「物・化・生・地学から1」 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から2 注)「政経」と「倫・政経」の選択はできない。 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は 〔6教科7科目もしくは8科目〕	国語総合・現代文B・古典B 必須 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	300	150	150	150	150	250	1050	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充
			国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 「物基・化基・生基・地学から1」又は「物・化・生・地学から1」 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から2 注)「政経」と「倫・政経」の選択はできない。 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は 〔6教科7科目もしくは8科目〕	国語総合・現代文B・古典B 必須 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	300	150	150	150	150	250	1050	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充
			国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 「物基・化基・生基・地学から1」又は「物・化・生・地学から1」 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から2 注)「政経」と「倫・政経」の選択はできない。 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は 〔6教科7科目もしくは8科目〕	国語総合・現代文B・古典B 必須 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	300	150	150	150	150	250	1050	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充
教育学部 数学教育 その他7	前期 2月25、26日	国数理外 地歴・公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 ①「物・化・生・地学から1」又は②「物基・化基・生基・地学から2及び物・化・生・地学から1」 注)②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科7科目又は8科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 物基・物・化基・化・生基・生、 地学・地学から1 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	200	200	200	200	200	850	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 ①「物・化・生・地学から1」又は②「物基・化基・生基・地学から2及び物・化・生・地学から1」 注)②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科7科目又は8科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 物基・物・化基・化・生基・生、 地学・地学から1 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	200	200	200	200	200	700	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 ①「物・化・生・地学から1」又は②「物基・化基・生基・地学から2及び物・化・生・地学から1」 注)②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科7科目又は8科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 物基・物・化基・化・生基・生、 地学・地学から1 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	200	200	200	200	200	200	1550	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充
理学部 理科教育 その他6	前期 2月25、26日	国数理外 地歴・公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 ①「物・化・生・地学から1」又は②「物基・化基・生基・地学から2及び物・化・生・地学から1」 注)②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科7科目又は8科目〕	物基・物・化基・化・生基・生、 地学・地学から1 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	200	200	200	200	200	850	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 ①「物・化・生・地学から1」又は②「物基・化基・生基・地学から2及び物・化・生・地学から1」 注)②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科7科目又は8科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 物基・物・化基・化・生基・生、 地学・地学から1 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	200	200	200	200	200	700	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 ①「物・化・生・地学から1」又は②「物基・化基・生基・地学から2及び物・化・生・地学から1」 注)②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科7科目又は8科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 物基・物・化基・化・生基・生、 地学・地学から1 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	200	200	200	200	200	200	1550	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充
教育学部 家庭教育 その他2	前期 2月25、26日	国数理外 地歴・公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 「物基・化基・生基・地学から1」又は「物・化・生・地学から1」 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科6科目又は7科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 国語総合・現代文B・古典B 必須 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	150	150	150	150	150	700	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 「物基・化基・生基・地学から1」又は「物・化・生・地学から1」 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科6科目又は7科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 国語総合・現代文B・古典B 必須 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	150	150	150	150	150	450	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・数C・数Dから1 「物基・化基・生基・地学から1」又は「物・化・生・地学から1」 英・独・仏・中・韓から1 世B・日B・地理B・現社・倫・政経、 倫・政経から1 〔5教科6科目又は7科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 国語総合・現代文B・古典B 必須 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接(集団面接) 必須	共通テスト	150	(150) (150)	(150) (150)	150	150	150	150	150	150	1150	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別の選抜方法等	
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題 実技検査 小論文	面接	配点 合計		
教育学部 学校教育養成課程	技術科教育 10人 前期 その他3	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・簿・会・情報から1 ①「物、化、生、地学から2」又は②「物、化、生、地学から2及び物、化、生、地学から1」 注) ②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 必須 物、化、生、地学 必須 面接 必須 その他	共通テスト	150	(150)	(150)	200	200	150			850	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1	計	150	(150)	(150)	450	450	200	200	1550				
			〔5教科7科目又は8科目〕													
教育学部	音楽教育 9人 前期 その他1	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数Ⅲ・数Ⅳ・数B・簿・会、情報から1 「物、化、生、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1	実技検査 必須 面接 必須 その他	共通テスト	150	(150)	(150)	150	150	150			750	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			〔5教科5科目又は6科目〕													
			〔5教科5科目又は6科目〕													
教育学部	美術教育 8人 前期 その他2	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数Ⅲ・数Ⅳ・数B・簿・会、情報から1 「物、化、生、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1	実技検査 必須 面接 (集団討論) 必須 その他	共通テスト	150	(150)	(150)	150	150	150			750	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充	
			〔5教科5科目又は6科目〕													
			〔5教科5科目又は6科目〕													
教育学部	保健体育 13人 前期 その他5	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1 数Ⅲ・数Ⅳ・数B・簿・会、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 「物、化、生、地学から2」又は「物、化、生、地学から1」 又は「物、化、生、地学から1」 もしくは ①「物、化、生、地学から2」又は「物、化、生、地学から1」 ②「物、化、生、地学から2」又は「物、化、生、地学から1」 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1又は2 注1) ②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。 注2) 公民においては、「倫」と「倫・政経」及び「政経」と「倫・政経」の選択はできない。 注3) 「又は4」は、理科において「物、化、生、地学」を含む科目を選択した場合のみ 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は〔6教科7科目もしくは8科目〕	実技検査 必須 面接 (集団面接) 必須 その他	共通テスト	200	(100)	(100)	200	100 (100)	200	200	900	学校推薦 帰国生徒 追加合格 欠員補充		
			計	200	(200)	(200)	200	200	100 (100)	200	200	1600				
			〔5教科7科目もしくは8科目〕													

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							特別の選 抜方法等					
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		総合問題 小論文	面接	配点 合計		
理学部 200人 前期 130 理数 重点 選抜 85 理科 重点 選抜 25 野外 科学 志向 選抜 20 後期30 その他 40	前期 2月25, 26日	国 教	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 必須 物理・物・化・生・基・生, 地学から1 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現 Ⅰ・Ⅱ) 必須	共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	900	総合型 学校推薦 枠 外国人 追加合格 欠員補充	
		国 数	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	理 外	物理・物・化・生・基・生, 地学から2 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現 Ⅰ・Ⅱ) 必須	共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200		900
	野 外 科 学 志 向 選 抜	野 外 科 学 志 向 選 抜	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物理・物・化・生・基・生, 地学から1又は2 } から2 面接 必須	共通テスト 個別学力検査	200 300(300)	(100)	(100)	200 (300)	200 (300)	200 (300)	200 (300)	200 (300)	200 (300)		1000 700
	後期 3月12日	国 数	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	面接 必須	共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1100		
		理 外 地 歴 公 民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	個別学力検査	個別学力検査									3段階 3段階	1100	
		公 民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	計	計	200	(100)	(100)	500	500	400	400	400	1700		
		地 歴	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	計	計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1700		
		公 民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	計	計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1700		
		数 学	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	計	計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1700		
		理 科	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	計	計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1700		
		外 国 語	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	計	計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1700		
		接 触	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	計	計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1700		
		合 計	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物理・化学・生物・地学から2 英・独・仏・中・韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 其 他	計	計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1700		

※ 理学部(前期日程)の志願者は、出願時に選抜方法を選択してください。選抜方法によって「大学入学共通テストの利用教科・科目」の配点及び「個別学力検査の試験科目及び配点」が異なります。なお、選抜方法ごとの募集人員は概ねの人数です。
 ※※ 理学部(後期日程)では、面接の結果を段階評価し、総合して判定します。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別の選抜方法等	
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地理	歴史	公民	数学	理科	外国語	総合問題 実技検査 小論文	面接		配点 合計
医学部 300人 前期 170 後期 18 その他 112	前期 2月25、 26、27日	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ 必須 数Ⅲ・数Ⅳ 必須 数Ⅴ 必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ 必須 物理・物・化・生・基・生から2 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	共通テスト	100	(50)	(50)	200	200	200	200	200	200	750	学校推薦 外国人 追加合格 欠員補充
					個別学力検査											
					計	100	(50)	(50)	600	600	600	600	600	600	1950	
保健 衛生 学科	前期 2月26日	国 数 理	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ 必須 数Ⅲ・数Ⅳ 必須 数Ⅴ 必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	国語総合(古文・漢文を除く)・現代文B・必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200	900	学校推薦 帰国生徒 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
					個別学力検査											
					計	400	(100)	(100)	400	200	200	200	200	200	1300	
看護学専攻 80人 前期 46 後期 6 その他28	前期 2月26日	国 数 理	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ 必須 数Ⅲ・数Ⅳ 必須 数Ⅴ 必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	国語総合(古文・漢文を除く)・現代文B・必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200	900	学校推薦 帰国生徒 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
					個別学力検査											
					計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200	1200	
放射線技術 学専攻 40人 前期 23 後期 5 その他12	前期 2月25、 26日	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ 必須 数Ⅲ・数Ⅳ 必須 数Ⅴ 必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ 必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200	900	学校推薦 帰国生徒 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
					個別学力検査											
					計	200	(100)	(100)	400	200	200	200	200	200	1300	
検査技術科学 専攻 40人 前期 21 後期 7 その他12	前期 2月25、 26日	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数Ⅱ 必須 数Ⅲ・数Ⅳ 必須 数Ⅴ 必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ 必須 英 (コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他	共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200	900	学校推薦 帰国生徒 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
					個別学力検査											
					計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200	1200	
					共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200	900	学校推薦 帰国生徒 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
					個別学力検査										300	
					計	200	(100)	(100)	200	200	200	200	200	200	1200	

※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員は、令和6年度医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続き等を医学部医学科において計画しており、現時点では未定であることから、令和5年度入試の状況を記載しています。令和6年度入試における

※ 医学部医学科志願者は、学生募集要項(一般選抜・学校推薦型選抜)を確認のうえ、出願してください。

※ 医学部(医学科)では、面接の結果を段階評価し、総合して判定します。

※ 医学部(医学科)では、入学志願者が募集人員の4倍を上回った場合、2段階選抜を実施することがあります。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別の選抜方法等
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題 実技検査 小論文	面接	配点 合計	
歯学部 60人 前期 39 後期 8 その他13	前期 2月25、 26日 後期 3月12日	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物・物・化・生から2 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)、独、仏から1 その他 必須 その他 必須	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 必須 物基・物・化・生基・生から2 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)、独、仏から1 その他 必須 その他 必須	共通テスト 個別学力検査 計	200 200 200	(100) (100) (100)	(100) (100) (100)	200 200 200	200 300 500	200 300 500	200 200 200	200 200 200	900 1100 2000	学校推薦 帰国生徒 外国人 追加合格 欠員補充
			〔5教科7科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 必須 物基・物・化・生から2 英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)、独、仏から1 その他 必須 その他 必須	共通テスト 個別学力検査 計	200 200 200	(100) (100) (100)	(100) (100) (100)	200 200 200	200 300 500	200 300 500	200 200 200	200 200 200	200 200 200	900 1100 2000
口腔生命福祉学 科 20人 前期 15 その他 5	前期 2月25、 26日	国 数 理 外 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 英、独、仏から1 数Ⅱ・数B 〔物・物・化・生から1〕又は 〔物・物・化・生から2〕又は もしくは ①〔物・物・化・生から2〕又は ②〔物・物・化・生から1〕 物・物・化・生から1〕 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、 倫・政経から1又は2 注1)「理科」から最低1科目(基礎科目は2 科目を選択すること。 注2) 公民においては、「倫」と「倫・政経」の選択はできない。 注3) ②の選択方法においては、同一名称を含む科目同士の選択は認めない。 注4) 「又は4」は、理科において「物・物・化 基、生基」を含む科目を選択した場合のみ。	英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他 必須	共通テスト 個別学力検査 計	200 200 200	(100) (100) (100)	(100) (100) (100)	200 200 200	100 100 100	100 100 100	200 200 200	450 450 1250	学校推薦 追加合格 欠員補充	
			〔5教科6科目もしくは7科目〕又は 〔6教科6科目もしくは7科目〕	英(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ) 必須 面接 必須 その他 必須	共通テスト 個別学力検査 計	200 200 200	(100) (100) (100)	(100) (100) (100)	200 200 200	100 100 100	100 100 100	200 200 200	200 200 200	200 200 200	450 450 1250

(注) 1 教科・科目名は、次のように略しています。

- 国語→国
- 数学→数, 数学Ⅰ→数Ⅰ, 数学Ⅱ→数Ⅱ, 数学Ⅲ→数Ⅲ, 数学Ⅳ→数Ⅳ, 数学Ⅴ→数Ⅴ, 数学Ⅵ→数Ⅵ, 簿記→簿, 会計→計, 情報関係基礎→情報
- 理科→理, 物理基礎→物基, 化学基礎→化基, 生物基礎→生基, 地学基礎→地基, 物理→物, 化学→化, 生物→生
- 外国語→外, 英語→英, ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓
- 地理歴史→地歴, 世界史 A→世 A, 世界史 B→世 B, 日本史 A→日 A, 日本史 B→日 B
- 現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, 「倫理, 政治・経済」→倫・政経

2 大学入学共通テストで利用制限のある教科・科目名について

「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門教育を主とする学科又は総合学科等において、専門教育に関する当該科目の履修者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

3 大学入学共通テストにおける「外国語（英語）」については、全学部においてリスニングを含みます。

4 個別学力検査で課す教科・科目の出題範囲について

- (1) 「数学」の出題項目は、次のとおりです。
 - ・ 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」及び「数Ⅳ」の出題項目は、全項目とします。
 - ・ 「数Ⅴ」の出題項目は、「数列」及び「ベクトル」とします。
 - (2) 「理科」の出題項目は、次のとおりです。
 - ・ 「物理基礎・物理」の出題範囲は、「物理基礎」及び「物理」の全範囲とします。
 - ・ 「化学基礎・化学」の出題範囲は、「化学基礎」及び「化学」の全範囲とします。
 - ・ 「生物基礎・生物」の出題範囲は、「生物基礎」及び「生物」の全範囲とします。
 - ・ 「地学基礎・地学」の出題範囲は、「地学基礎」及び「地学」の全範囲とします。
- 5 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等の（ ）は、選択科目の配点を示します。
- 6 大学入学共通テストにおける「外国語（英語）」の配点内訳は以下のとおりです（リーディングとリスニングの配点内訳の比率は 4 : 1 です）。
- ・ 配点欄の点数が「50」の学部（学科）等（リーディング：「40」, リスニング：「10」）
 - ・ 配点欄の点数が「100」の学部（学科）等（リーディング：「80」, リスニング：「20」）
 - ・ 配点欄の点数が「150」の学部（学科）等（リーディング：「120」, リスニング：「30」）
 - ・ 配点欄の点数が「200」の学部（学科）等（リーディング：「160」, リスニング：「40」）
 - ・ 配点欄の点数が「250」の学部（学科）等（リーディング：「200」, リスニング：「50」）
 - ・ 配点欄の点数が「300」の学部（学科）等（リーディング：「240」, リスニング：「60」）
- 7 大学入学共通テストの英語リスニングを免除された者については、リーディングの得点のみを用いて、リーディングとリスニングの得点を用いた者と同じ配点となるようにリーディングの得点に乗じる比率を変換することとします。

8 大学入学共通テストの「地理歴史」及び「公民」は、同一の試験時間において出題されますが、本学の学部・学科等が指定する教科数としては、それぞれ独立した教科として取扱います。

9 「面接」において、集団面接や集団討論等の記載がない場合は「個人面接」を実施します。

(2) 教育学部における実技検査の課題・範囲

学校教員養成課程 教科教育コース（音楽教育，美術教育，保健体育）

区 分		実 技 検 査 課 題 ・ 範 囲
音 楽 教 育	前期 日程	<p>次のA～Cから1つを選択してください。</p> <p>A ピアノを主とするもの……課題一覧表の(a), (e)及び(f)を課します。</p> <p>B 声楽を主とするもの……課題一覧表の(b), (d)及び(f)を課します。</p> <p>C 任意の楽器を主とするもの……課題一覧表の(c), (d)及び(e)を課します。</p> <p>課題一覧表</p>
		<p>(a) ピアノ</p> <p>次の作曲家のピアノ作品の中から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます（ソナタの場合は、緩徐楽章を除く1つの楽章を選んでください）。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p>・ J. S. Bach ・ J. Haydn ・ W. A. Mozart ・ L. v. Beethoven ・ F. Schubert ・ F. Mendelssohn ・ F. Chopin ・ R. Schumann ・ F. Liszt ・ J. Brahms ・ C. Debussy ・ M. Ravel</p>
		<p>(b) 声 楽</p> <p>次の①～⑤の中から志願者の任意選択による3曲を暗譜歌唱させます。</p> <p>①～④については、伴奏楽譜を1部提出するとともに、当日は提出した楽譜の調により原詩で歌唱してください。声域に合わせて移調しても構いません。</p> <p>⑤については、歌詞を1部提出してください。伴奏楽器はつけません。</p> <p>① Caro laccio - F. Gasparini ② Lasciar d'amarti - F. Gasparini ③ Caro mio ben - G. Giordani ④ 浜辺の歌 - 成田為三（2番まで） ⑤ 佐渡おけさ - 日本民謡</p>
		<p>(c) 任意の楽器※</p> <p>志願者の任意選択による5分程度の自由曲（複数可）を、反復を省略して暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p>
		<p>(d) ピアノ</p> <p>次の範囲から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p>・ バイエルピアノ教則本 Op. 101より 第74番～第106番（原書番号） ・ ソナチネアルバム1, 2（全音楽譜出版社又は音楽之友社）より ソナチネ又はソナタの1つの楽章</p>
		<p>(e) 声 楽</p> <p>Concone50番練習曲（版は特に指定しません。）No. 10, 12, 14の中から1曲を当日指定し、暗譜歌唱させます。No. 10, 12, 14の伴奏楽譜を各1部提出してください。声域に合わせて移調しても構いません。唱法は、階名唱や母音唱など自由とします。当日は提出した楽譜の調で歌唱してください。</p>
		<p>(f) 任意の楽器※</p> <p>志願者の任意選択による3分程度の自由曲（複数可）を暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p>
		<p>※ 任意の楽器：リコーダー，フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリンバ，小太鼓，三味線，箏，尺八</p> <p>楽器は当日持参してください。ただし，マリンバ（音域C～C，4オクターヴ）は大学で用意しますが，マレットは当日持参してください。</p> <p>注……………時間の関係で，演奏を途中でやめてもらうことがあります。なお，選択した楽曲は，変更できません。また，提出した楽譜は返却しません。</p>
美術教育	前期日程	<p>次のI・IIのうち，いずれかを選択してください。</p> <p>I 静物着彩（180分） 各自用意するもの 水溶性絵の具，筆，パレット，筆洗，鉛筆，消しゴム</p> <p>II 美術に関する小論文（120分）</p>

保 健 体 育	前期 日程	下表のⅠ及びⅡ群からそれぞれ1種目、計2種目を選択してください。		
		群	種目	内容
		Ⅰ	陸上競技	ハードルと立ち5段跳
			水泳	200M個人メドレー
			器械運動	マット運動と跳び箱運動
			ダンス	自由課題による創作（3分以内）と基礎技能
			体づくり運動	自由課題による一連の運動と基礎技能
			卓球	基礎技能
		Ⅱ	バドミントン	基礎技能
			バレーボール	基礎技能
			バスケットボール	基礎技能
			サッカー	基礎技能
			野球(硬式または軟式)	基礎技能
			(注)*水泳を選択する者は、用具を持参してください。 *ダンスを選択する者のうち、「自由課題による創作」で音楽を使う場合は、CDを持参してください。 *体づくり運動を選択する者のうち、手具や音楽を使う場合には、手具・CDを持参してください。 *卓球及びバドミントンを選択する者は、ラケットを持参してください。 *野球を選択する者は、グローブを持参してください。 *検査は、すべて屋内で実施しますので、体育館シューズを持参してください。	

(3) 大学入学共通テストの成績の取扱い

大学入学共通テストの利用教科・科目において、入学志願者が、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、高得点の教科・科目の成績を用います。

ただし、『「地理歴史」,「公民」』及び「理科」における取扱いは、次のとおりとします。

1. 『「地理歴史」,「公民」』における2科目受験者の成績のうち、1科目の成績を用いる場合は、2科目受験者が最初に解答した科目（第1解答科目）の成績とします。
2. 「理科」については、次のように取扱います。
 - a) 理科①（注1）から2科目及び理科②（注2）から1科目を受験した者で、「基礎を付した科目」又は「基礎を付していない科目」のいずれかの成績を用いる場合は、高得点の成績とします。
 - b) 理科②（注2）における2科目受験者の成績のうち、1科目の成績を用いる場合は、2科目受験者が最初に解答した科目（第1解答科目）の成績とします。

（※ この取扱いは、19ページ以降に記載の大学入学共通テストを課す総合型選抜及び学校推薦型選抜においても同様の取扱いとします。）

（注1）理科①は「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」を指します。（基礎を付した科目）

（注2）理科②は「物理」,「化学」,「生物」,「地学」を指します。（基礎を付していない科目）

(4) 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学と相談してください。

① 相談の期限

令和6年1月19日（金）までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

なお、相談の期限後に、配慮が必要となった者は、至急④の連絡先に問い合わせてください。

② 相談の方法

申請書（所定用紙）に必要事項を記入のうえ、医師の診断書等必要書類を添付し、提出してください。

③ 提出書類

- (1) 申請書（所定用紙。本学ホームページの「受験生特設サイト」掲載のPDF）
- (2) 診断書（写し可。発行後6ヶ月以内、または、大学入学共通テスト出願時に提出したものの写し）

また、大学入学共通テストの「受験上の配慮決定通知書」がある場合は、その写しも提出してください。

なお、必要な場合は、本学において志願者及び関係者等と面談を行います。

④ 連絡先・申請書提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学学務部入試課 電話（025）262-6079

(5) 出願期間、学力検査等期日及び合格者の発表

① 出願期間

令和6年1月22日（月）から2月2日（金）（必着）

② 学力検査等期日

【前期日程】

期 日	午 前	午 後
2月25日(日)	数 学	理 科
	地 理 歴 史	面 接
	実 技 検 査	
2月26日(月)	外 国 語	国 語
	実 技 検 査	
	面 接	
2月27日(火)	面 接	

【後期日程】

期 日	午 前	午 後
3月12日(火)	総 合 問 題	
	小 論 文	
	面 接	

（注1）前期日程、後期日程の学力検査等日程の詳細については、令和5年11月下旬公表の「学生募集要項」を参照してください。

（注2）試験場は、志望学部の所在するキャンパスを予定しています。

③ 合格者の発表

前期日程……令和6年3月8日（金）

後期日程……令和6年3月22日（金）

(6) 欠員の補充方法

欠員の補充は、追加合格により行います。必要がある場合には、第2次募集を行います。

(7) 総合型選抜

① 募集人員・出願要件等

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
経済科学部 総合経済学科	30人	<p>大学入学資格を有する者(注)で、次の①及び④に該当し、かつ②、③のいずれかに該当するもの。</p> <p>① 経済科学部での学習に熱意のある者</p> <p>② 高等学校の内外での経験において主体的に活動を行い、それを通じて獲得した能力を自ら推薦できる者</p> <p>③ 社会人としての経験において主体的に活動を行い、それを通じて獲得した能力を自ら推薦できる者</p> <p>④ 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>「大学入学資格を有する者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。</p> <p>(注) 1 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者(令和6年3月卒業見込みの者を含む。)</p> <p>2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(令和6年3月修了見込みの者を含む。)</p> <p>3 高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められる次の(1)から(5)のいずれかに該当する者(令和6年3月31日までにこれらに該当する見込みの者を含む。)</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>(3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)</p> <p>※ なお、入学志願者数が募集人員の1.5倍を上回る場合は、2段階選抜を実施することがあります。詳しくは38ページを参照してください。</p>	<p>出願期間 令和5年9月14日(木) ～9月19日(火) (必着)</p> <p>選抜期日等 (2段階選抜を実施する場合の第1段階) ※書類審査のみのため来学する必要はありません。</p> <p>令和5年11月18日(土) ※小論文及び面接(集団討論)</p> <p>合格者発表 (2段階選抜を実施する場合の第1段階) 令和5年10月26日(木)</p> <p>令和5年12月14日(木)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年6月上旬</p>
理学部 理学科	5人	<p>令和6年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者((注)の者を含む。)で、次の各号に該当するもの。</p> <p>① 学業・人物とも優れ、理学部での学習に熱意のある者</p> <p>② 高等学校等の正課外での、数学または理科をテーマとした研究に関する活動で主体的に研究に取り組み、学校内外いずれかで成果発表(インターネットを通じた発表も可)を行った経験を有する者</p> <p>③ 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) ・令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>・令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>・令和4年度中に高等学校あるいは特別支援学校の高等部を卒業した者</p> <p>・令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>・令和5年度中に高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた結果発表会が中止となった場合、成果発表を行ってなくても、成果物を準備した者も含む。</p>	<p>出願期間 令和5年9月7日(木) ～9月11日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年10月14日(土)</p> <p>合格発表 第1次選抜 令和5年10月27日(金)</p> <p>第2次選抜 令和6年2月9日(金)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年6月上旬</p>

学 部 ・ 学 科	募集人員	出 願 要 件	備 考
<p>工学部 工学科</p> <p>プログラムごとの概ねの募集人員は以下のとおりです。</p> <p>機械システム工学プログラム 4人 社会基盤工学プログラム 2人 電子情報通信プログラム 4人 知能情報システムプログラム 3人 化学システム工学プログラム 4人 材料科学プログラム 3人 建築学プログラム 2人 人間支援感性科学プログラム 2人 協創経営プログラム 3人</p>		<p>次の各号の要件を満たし、下記の（注1）又は（注2）に該当するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者 高等学校等の内外において主体的に活動を行い、その経験を通して獲得した実力・能力を自ら推薦できる者 本学部が示す英語の資格・検定試験を受検し、一定の成績を修めた者（別表参照）又は高等学校等在学中に履修した英語に関する科目の日常の授業における学習状況や試験の成績等から総合的に評価した結果、別表に示すスコア・級以上に相当する英語力があると学校長が認めた者 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>（注1）・令和5年度中に高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者及び卒業見込みの者 ・令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ・令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者 ・令和5年度中に高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者</p> <p>（注2）・令和4年度中に高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者 ・令和4年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者</p> <p>※ なお、各主専攻プログラムの概ねの入学志願者が募集人員の2倍を上回る場合は、当該主専攻プログラムにおいて2段階選抜を実施することがあります。詳しくは38ページを参照してください。</p>	<p>出願期間 令和5年9月1日(金) ～9月5日(火) (必着)</p> <p>選抜期日等 (2段階選抜を実施する場合の第1段階) ※書類審査のみのため来学する必要はありません。</p> <p>令和5年10月14日(土) ※小論文及び面接</p> <p>合格者発表 (2段階選抜を実施する場合の第1段階) 令和5年9月22日(金)</p> <p>令和5年11月1日(水)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年6月上旬</p>
<p>創生学部 創生学修課程</p> <p>科目選択型ごとの概ねの募集人員は以下のとおりです。</p> <p>理系科目選択型 10人 文系科目選択型 10人</p>		<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者（（注）の者を含む。）で、次の各号に該当するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人物・学業成績がともに優れ、創生学部での学習に熱意のある者 高等学校等の内外において主体的に活動を行い、その経験を通して獲得した実力・能力を自ら推薦できる者 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>（注）・特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ・高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者 ・高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者</p> <p>※ なお、理系科目選択型・文系科目選択型のそれぞれにおいて、入学志願者数が概ねの募集人員の4倍を上回る場合は、該当選択型において、2段階選抜を実施することがあります。詳しくは、38ページを参照してください。</p>	<p>出願期間 令和5年9月26日(火) ～9月28日(木) (必着)</p> <p>選抜期日等 (2段階選抜を実施する場合の第1段階) ※書類審査のみのため来学する必要はありません。</p> <p>令和5年11月4日(土) ※講義の聴講及び講義に関する課題レポート</p> <p>令和5年11月5日(日) ※面接</p> <p>合格者発表 (2段階選抜を実施する場合の第1段階) 令和5年10月19日(木)</p> <p>令和6年2月9日(金)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年6月上旬</p>

別表 工学部出願要件3において基準となる英語外部検定試験のスコア・級

資格・検定試験名	スコア・級
ケンブリッジ英語検定	120
実用英語技能検定	準2級
GTEC（4技能）	令和3年4月1日～令和5年3月31日までの受験者：690 令和5年4月1日以降の受験者：680
IELTS	4.0
TEAP	135
TEAP CBT	235
TOEFL iBT	42
TOEIC L&R/S&W	625

※ TOEICについては、L&R及びS&Wの両方を受験してください。基準となるスコアは、S&Wのスコアを2.5倍にしてL&Rのスコアと合算したものとします。

※ 令和3年4月以降に受験した試験に限ります。ただし、実用英語技能検定については、二次試験を令和3年4月以降に受験した試験とします。

※ ここに記載していない資格・検定試験は対象としません。

② 選抜方法

入学者の選抜は、「令和6年度大学入学共通テスト」(学部によっては免除されます)、「本学が実施する試験等」及び「出願書類」を総合して行います。試験科目及び配点等は以下のとおりです。※共通テストの取り扱いについては15, 17ページを確認して下さい。

学部・学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			試験の区分	大学入学共通テスト						本学が実施する試験等				配点合計
	教科	科目名等	試験等		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	課題レポート	小論文	面接	書類審査	
経済科学部 総合経済学科		共通テストは課さない	小論文 面接(集団討論) 書類審査	本学が実施する試験等								150	200	50	400
理学部	国 数 理 外	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 (4教科6科目)	プレゼンテーション 及び口頭試問 書類審査	共通テスト 本学が実施する試験等	100		100	100	100	100					400 第2次選抜 500 第1次選抜
工学部 工学科		共通テストは課さない	小論文 面接(プレゼンテーション 及び口頭試問を含む) 書類審査	本学が実施する試験等								200	100	100	400
創生学部	理系科目選択型	外 数	英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ・数A 必須	共通テスト 本学が実施する試験等			100 (100)	(100) (100)	200						500
		数 理	数Ⅱ・数B }から2 物、化、生、地学 } (3教科4科目)		400 (200×2課題)	200 書類審査 含む	200 ○	600							
創生学部	文系科目選択型	外 数	英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ・数A 必須	共通テスト 本学が実施する試験等			100 (100)	(100) (100)	200						500
		国 地歴・公民	国語 世B、日B、地理Bから1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から1 (3教科4科目)又は(4教科4科目)		400 (200×2課題)	200 書類審査 含む	200 ○	600							
			計	計	(100) (100)		100 (100)	(100) (100)	200						1100

(注) ○印は、当該試験を課することを示します。

(8) 学校推薦型選抜

① 募集人員・出願要件等

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
人文学部 人文学科	30人	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者（(注)の①、②及び③を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 人物・学業ともに優れ、本学部での学習に意欲のある者</p> <p>2 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) ① 特別支援学校の高等を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>② 高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ～11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年12月9日(土)</p> <p>合格者発表 令和6年2月9日(金)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年8月上旬</p>
教育学部 学校教員養成課程 専修ごとの概ねの募集人員は以下のとおりです。 学校教育コース 学校教育学専修 教育心理学専修 特別支援教育専修 教科教育コース 国語教育専修 社会科教育専修 英語教育専修 数学教育専修 理科教育専修 家庭科教育専修 技術科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修	60人 6人 4人 5人 6人 8人 5人 7人 6人 2人 3人 1人 2人 5人	<p>令和6年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（(注)の①、②、③及び④を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 学業・人物ともに優れ、小学校教員になる強い意志と情熱をもつ者 なお、学校教育コースの特別支援教育専修を志願する者にあつては、特別支援学校教員になる強い意志と情熱をもつ者</p> <p>2 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>② 令和5年度中に特別支援学校の高等を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ～11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年11月18日(土)</p> <p>合格者発表 令和6年2月9日(金)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年8月上旬</p>
法学部 法学科	50人	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者（(注)の①、②及び③を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 新潟大学法学部のアドミッション・ポリシーに合致する者</p> <p>2 学習成績概評がB以上で、本学部での勉学に熱意を持つ者</p> <p>3 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) ① 特別支援学校の高等を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>② 高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ～11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年11月25日(土)、 11月26日(日) (いずれかの1日)</p> <p>合格者発表 令和5年12月20日(水)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年8月上旬</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
経済科学部 総合経済学科	28ページの (※1) 参照	令和6年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者((注)の①, ②, ③及び④を含む。)で, 次の各号に該当し, 当該学校長が責任をもって推薦するもの。 1 学業・人物ともに優れ, 経済学・経営学に加え, 人文社会科学分野の勉学に意欲のある者 2 学習成績概評がAの者 3 合格した場合は, 入学することを確約できる者 (注) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者	出願期間 令和5年11月1日(水) ～11月6日(月) (必着) 選抜期日 令和5年11月18日(土) 合格者発表 令和5年12月14日(木) 学生募集要項の公表 令和5年8月上旬
理学部 理学科 プログラムごとの概ねの募集人員は以下のとおりです。 数学プログラム 物理学プログラム 化学プログラム 生物学プログラム 地質科学プログラム 自然環境科学プログラム	7人 7人 5人 5人 5人 6人	令和6年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者((注)の①, ②, ③及び④を含む。)で, 次の各号に該当し, 当該学校長が特に優れていると認め, 責任をもって推薦するもの。 1 学業・人物ともに優れ, 理学部のアドミッション・ポリシーに示した「求める学生像」に適合する者 2 合格した場合は, 入学することを確約できる者 (注) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者 ※志願者多数の場合は, 11月19日(日)にも試験を実施することがあります。	出願期間 令和5年11月1日(水) ～11月6日(月) (必着) 選抜期日 (数学, 物理学, 地質科学, 自然環境科学プログラム) 令和5年11月18日(土), 11月19日(日) (化学, 生物学プログラム) 書類審査のみのため来学する必要はありません。 合格者発表 (数学, 物理学プログラム) 令和5年12月1日(金) (化学, 生物学, 地質科学, 自然環境科学プログラム) 令和6年2月9日(金) 学生募集要項の公表 令和5年8月上旬
医学部 医学科 ※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員は, 令和6年度医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続き等を医学部医学科において計画しており, 現時点では未定であることから, 令和5年度入試の状況を記載しています。	60人 (地域枠 40人を含む。 新潟県内の高等学校対象22人 新潟県を含む全国の学校対象18人)	【一般枠】……全国の国公立高等学校((注1)の②を含む。)を対象とします。 令和6年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者((注1)の①及び②を含む。)で, 次の各号に該当し, 当該学校長が特に優れていると認め, 責任をもって推薦するもの。 1 学習成績概評がA又はAで, 人物も優れ, 将来医学の分野で活躍が期待される者 2 合格した場合は, 入学することを確約できる者 (注1) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該学校長が推薦できる人員は, 1校につき20人以内とします。 (注3) 新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者は, 本学医学部医学科学学校推薦型選抜【地域枠】との併願ができます。	出願期間 令和5年11月(予定) 選抜期日 令和5年12月(予定) 合格者発表 令和6年2月9日(金) 学生募集要項の公表 令和5年11月(予定)

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
		<p>【地域枠】 令和2年4月から令和5年3月までに高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者（以下「既卒者」という。）及び、令和6年3月卒業見込みの者（令和5年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込み者」という。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 学習成績概評が㉠又はAで、人物も優れ、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者</p> <p>2 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒業臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務(卒業臨床研修を含み9年間)することを確約できる者</p> <p>(注) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき30人以内とします。 (内訳) 卒業見込み者：一般枠を含め20人以内 既卒者：10人以内</p>	<p>【一般枠】と【地域枠】 を併願した者は【一般枠】を優先して選抜し、【一般枠】で合格とならなかった場合、【地域枠】として選抜の対象になります。</p> <p>ただし、【一般枠】と【地域枠】を併願する場合、希望する者は【地域枠】を優先して選抜します。</p> <p>新潟県では将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、奨学金を貸与し、修学支援を行っています。地域枠の入学者に対しては、新潟県医師養成修学資金貸与制度「重点コース（新潟大学医学部「新潟県地域枠」）」を設け、修学支援を行っています。</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㉠標示を希望します。</p>
医学部 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	28人 12人 12人	<p>令和6年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業見込みの者（(注1)の①、②、③及び④を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するもの。</p> <p>合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>〔看護学専攻〕</p> <p>1 看護学の学習に熱意のある者</p> <p>2 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>〔放射線技術科学専攻〕</p> <p>1 放射線技術科学の学習に熱意のある者</p> <p>2 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>〔検査技術科学専攻〕</p> <p>1 検査技術科学の学習に熱意のある者</p> <p>2 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(注1) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ～11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年11月24日(金)</p> <p>合格者発表 令和5年12月14日(木)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年8月上旬</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
		<p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員 普通科(理数科等を含む。)においては、看護学専攻は、1校につき2人以内、放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻についてはそれぞれ1校につき1人とします。 職業教育を主とする学科及び総合学科においては、各専攻とも1校につき2人以内とします。 ただし、看護学専攻においては、准看護師の受験資格を得ることができる学科の場合は、さらに当該学科から1人推薦できるものとします。</p>	
歯学部 歯学科	8人	<p>令和6年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者(注1)の①、②、③及び④を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。 1 学習成績概評がA又はAで、人物も優れ、歯学の学習に熱意のある者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注1) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき2人以内とします。</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ~11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年11月25日(土)</p> <p>合格者発表 令和6年2月9日(金)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年8月上旬</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄にA標示を希望します。</p>
歯学部 口腔生命福祉学科	5人	<p>令和6年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者(注1)の①、②、③及び④を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。 1 学業・人物ともに優れ、口腔保健学及び社会福祉学の学習に熱意と明確な目的意識を有する者 2 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注1) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき3人以内とします。</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ~11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年11月25日(土)</p> <p>合格者発表 令和6年2月9日(金)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年8月上旬</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
工学部 工学科 機械システム工学プログラム 社会基盤工学プログラム 電子情報通信プログラム 知能情報システムプログラム 化学システム工学プログラム 材料科学プログラム 建築学プログラム 人間支援感性科学プログラム 協創経営プログラム	28ページの (*2) 参照	<p>令和6年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者((注)の①, ②, ③及び④を含む。)及び令和4年度中に高等学校又は特別支援学校の高等部を卒業した者で, 次の各号に該当し, 当該学校長が責任をもって推薦するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人物・学業成績がともに優れ, 工学の学習に熱意のある者 合格した場合は, 入学することを確約できる者 <p>(注) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>工学部学校推薦型選抜は, 主専攻プログラムごとに行います。また, 入試方法によってI型, II型に分かれており, それぞれの出願要件が異なります。28~29ページを参照してください。</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ~11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年 11月18日(土), 11月19日(日) (いずれかの1日)</p> <p>合格者発表 I型 令和5年12月8日(金) II型 令和6年2月9日(金)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年8月上旬</p>
農学部 農学科 応用生命科学プログラム 食品科学プログラム 生物資源科学プログラム 流域環境学プログラム フィールド科学人材育成プログラム(※II型のみ)	29ページの (*3) 参照	<p>農学部学校推薦型選抜は入試方法によってI型, II型に分かれており, それぞれ出願要件が異なります。下記及び29ページの(*3)を参照して下さい。</p> <p>・学校推薦型選抜I型</p> <p>令和6年3月に高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)の農業に関する学科, 工業に関する学科, 水産に関する学科, 家庭に関する学科及び総合学科のいずれかを卒業見込みの者または令和3年度以降に卒業した者((注)①, ②, ③及び④を含む。)で, 次の各号に該当し, 当該学校長が特に優れていると認め, 責任をもって推薦するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学業・人物ともに優れ, 農学の学習に意欲のある者 合格した場合は, 入学することを確約できる者 <p>(注) ① 令和5年度中に高等学校を卒業見込みの者 ② 令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業見込みの者 ③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了見込みの者</p> <p>・学校推薦型選抜II型</p> <p>令和6年3月に高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者((注)①, ②, ③及び④を含む。)で, 次の各号に該当し, 当該学校長が特に優れていると認め, 責任をもって推薦するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学業・人物ともに優れ, 農学の学習に意欲のある者 合格した場合は, 入学することを確約できる者 <p>(注) ① 令和5年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和5年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和5年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ~11月6日(月)</p> <p>選抜期日 令和5年11月18日(土)</p> <p>合格発表 (I型) 令和5年12月1日(金) (II型) 令和6年2月9日(金)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年8月上旬</p>

* 1 経済科学部学校推薦型選抜の対象となる高等学校の範囲等と募集人員は、次表のとおりです。

区 分	学校推薦型選抜の対象となる者	募集人員
総合経済学科	(範囲の指定なし)	45人
	商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	15人

* 2 工学部学校推薦型選抜Ⅰ型、Ⅱ型の対象となる者（出願要件）と募集人員は、次表のとおりです。

学科	入試種別	主専攻プログラム	学校推薦型選抜の対象となる者（出願要件）	募集人員※
工 学 科	Ⅰ 型	機械システム工学プログラム	出願要件① 主専攻プログラムごとに指定する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕（教科・科目の内容は28ページの別表1を参照）	7人
		社会基盤工学プログラム		4人
		電子情報通信プログラム	出願要件② SSHカリキュラムを受講した者で、下記のいずれかもしくは両方を満たした者	7人
		知能情報システムプログラム	・SSHの指定を受けている高等学校又は中等教育学校において研究又は実験を行ったことのある者	7人
		化学システム工学プログラム	・大学、官公庁及び企業等の研究機関において研究又は実験を行ったことのある者	7人
		材料科学プログラム	出願要件③ 科学系コンテストなどで入賞し、その成果が高く評価されている者（科学系コンテストの内容は29ページの別表2を参照）	4人
		建築学プログラム	出願要件④ 人間支援感性科学プログラムを志望する者で、優れた能力をもつ者（優れた能力の内容は29ページの別表3を参照）	3人
		人間支援感性科学プログラム	出願要件⑤ 高等学校等の内外において主体的に活動（課題研究、総合学習、課外活動、コンテスト、コンクール等）を行った者	14人
		協創経営プログラム		2人
		計	55人	
	Ⅱ 型	機械システム工学プログラム	27ページに記載の出願要件のとおり	15人
		社会基盤工学プログラム		4人
		電子情報通信プログラム		11人
		知能情報システムプログラム		12人
		化学システム工学プログラム		10人
		材料科学プログラム		7人
		建築学プログラム		4人
		人間支援感性科学プログラム		5人
		協創経営プログラム		10人
	計	78人		

※各入試種別のプログラムごとの募集人員は概ねの人数です。

別表1 出願要件①の教科・科目について

学科	主専攻プログラム	教科・科目
工 学 科	機械システム工学プログラム	工業
	社会基盤工学プログラム	工業
	電子情報通信プログラム	工業及び情報
	知能情報システムプログラム	工業、情報及び商業
	化学システム工学プログラム	工業、農業及び水産
	材料科学プログラム	工業、農業及び水産
	建築学プログラム	工業
	人間支援感性科学プログラム	工業、情報及び商業
協創経営プログラム	工業、情報及び商業	

別表2 出願要件③の科学系コンテストの内容について

学科	主専攻プログラム	科学系コンテスト名と認定基準 (過去3年間に以下の基準を満たした者)
工学科	機械システム工学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	社会基盤工学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
		日本情報オリンピック予選通過者
		日本生物学オリンピック予選通過者
		日本地学オリンピック予選通過者
		科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者
	電子情報通信プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	知能情報システムプログラム	日本情報オリンピック本選Aランク通過者
	化学システム工学プログラム	化学グランプリ二次選考入賞者
	材料科学プログラム	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
	建築学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
	人間支援感性科学プログラム	日本情報オリンピック予選通過者
		日本数学オリンピック予選Aランク者
協創経営プログラム	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者	
	化学グランプリ一次選考通過者	
	日本情報オリンピック予選通過者	
	日本生物学オリンピック予選通過者	
	日本地学オリンピック予選通過者	
	科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者	

別表3 出願要件④の優れた能力の内容について

学科	主専攻プログラム	優れた能力の内容
工学科	人間支援感性科学プログラム	優れた造形芸術の能力をもつ者
		優れた音楽の演奏能力又は作曲能力をもつ者
		優れたスポーツの技能を有する者

* 3 農学部学校推薦型選抜の対象となる高等学校の範囲等と募集人員は、次表のとおりです。

学科	入試種別	主専攻プログラム	高等学校の範囲等	募集人員	
農学科	I型	応用生命科学プログラム	農業、工業、水産及び家庭に関する学科並びに総合学科(注1, 2)	2人	
		食品科学プログラム	農業、水産及び家庭に関する学科並びに総合学科(注1, 3)	2人	
		生物資源科学プログラム	農業に関する学科及び総合学科(注4)	5人	
		流域環境学プログラム	農業及び工業に関する学科並びに総合学科(注5)	4人	
	II型	農学科一括	高等学校の普通科等		21人
		応用生命科学プログラム			
		食品科学プログラム			
		生物資源科学プログラム			
		流域環境学プログラム			
		フィールド科学人材育成プログラム			

※各選抜区分についての募集人員は概ねの人数です。

※(注1) 家庭に関する学科は、食物に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

※(注2) 総合学科は、農業、工業、水産、食物に関する教科・科目のうち、いずれか1つを20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

※(注3) 総合学科は、農業、水産、食物に関する教科・科目のうち、いずれか1つを20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

※(注4) 総合学科は、農業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

※(注5) 総合学科は、農業及び工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

学部・学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			試験の区分	大学入学共通テスト					本学が実施する試験等				配点合計		
	学科	科目名等	試験等		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文 総合問題	基礎学力試験		面接	書類審査
理学部 理学科	数学プログラム	共通テストは課さない	基礎学力試験 面接 書類審査	基礎学力試験	100		100					300	100	100	500	
				基礎学力試験 面接 書類審査	100								300	100	100	500
	化学プログラム	共通テストは課さない	書類審査	共通テスト	100		100	100	100						450	
				共通テスト	100		100	100	100							450
	生物プログラム	共通テストは課さない	書類審査	共通テスト	100		100	100	100							450
共通テスト				100		100	100	100							450	
地質科学プログラム	共通テストは課さない	面接 書類審査	共通テスト	50		50	50	50						200		
医学部	医学科	共通テストは課さない	面接 書類審査	共通テスト	100		100	100	100						400	
				共通テスト	100		100	100	100							400
	保健学科	共通テストは課さない	面接 書類審査	共通テスト	100	(50)	(50)	200	200	200					750	
				共通テスト	100	(50)	(50)	200	200	200					750	
				共通テスト	100	(50)	(50)	200	200	200					750	
放射線技術科学専攻	共通テストは課さない	面接 書類審査	共通テスト	100										200		
			共通テスト	100											200	
検査技術科学専攻	共通テストは課さない	面接 書類審査	共通テスト	100										200		
			共通テスト	100											200	

(注) ○印は、当該試験等を課すことを示します。
※ 医学部(医学科)では、面接の結果を段階評価し、総合して判定します。

学部・学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		試験の区分	大学入学共通テスト					本学が実施する試験等			配点合計		
	教科	科目名等		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文総合問題		基礎学力試験	面接
歯学部 歯学科	国数 理外 地歴・公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物、化、生から2 英、独、仏から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1 〔5教科7科目〕	共通テスト 本学が実施する試験等	200	(100)	(100)	200	200	200					900
	小論文 面接 書類審査		小論文 250 小論文 250									250	○	500
口腔生命福祉学科	国数 理外 地歴・公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 英、独、仏から1 数Ⅱ・数B 〔物、化、生から1〕 もしくは ①〔物、化、生から2〕又は ②〔物、化、生から1〕 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1又は2 〔5教科7科目〕	共通テスト 本学が実施する試験等	200	(100)	(100)	100 (100)	100 (100)	200					800
	小論文 面接 書類審査		小論文 200									200	○	400
			計	200	(100)	(100)	100 (100)	100 (100)	200			200	○	1200

(注) ○印は、当該試験等を課すことを示します。

(10) 帰国生徒特別選抜（令和6年10月入学）

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
人文学部 法学部 経済科学部 農学部	若干人 若干人 若干人 若干人	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情に伴い外国の学校に在学し次のいずれかに該当するものとします。この場合、転勤等により、保護者が先に帰国した場合も認めます。ただし、法学部は、保護者の海外勤務等の事情を問いません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和6年（2024年）4月1日から同年9月30日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者及びこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ただし、卒業（修了）時において最終学年を含め、継続して2年以上外国の学校教育（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を除く。）を受けていること 2 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和6年（2024年）4月1日から同年9月30日までに授与された者又は授与される見込みの者 3 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和6年（2024年）4月1日から同年9月30日までに授与された者又は授与される見込みの者 4 外国において、フランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和6年（2024年）4月1日から同年9月30日までに授与された者又は授与される見込みの者 5 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）を令和6年（2024年）4月1日から同年9月30日までに取得した者又は取得見込みの者 6 外国において、国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和6年（2024年）4月1日から同年9月30日までに修了した者又は修了見込みの者 	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験を行います。</p> <p>○人文学部 1 小論文(日本語による。) 2 面接(日本語による。)</p> <p>○法学部 1 小論文(日本語による。) 2 面接(日本語による。)</p> <p>○経済科学部 1 小論文(日本語による。) 2 面接(日本語による。)</p> <p>○農学部 1 小論文(日本語による。) 2 口述試験(日本語による。)</p> <p>入学者選抜の判定は、当該試験結果及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間、選抜期日、合格者発表その他詳細は、令和6年6月下旬公表予定の学生募集要項を参照してください。</p> <p>学生募集要項の公表 令和6年6月下旬</p> <p>なお、出願資格の確認を行いますので、42ページを参照のうえ、手続を行ってください。</p> <p>請求方法は38～40ページを参照して下さい。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>

(11) 社会人特別選抜

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
人文学部 人文学科	若干人	<p>令和6年4月1日現在において23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校を卒業した者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） 	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学力検査 外国語（英語） 2 小論文 3 面接 <p>入学者選抜の判定は、当該試験結果及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間 令和5年9月12日(火) ～9月14日(木) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年10月28日(土)</p> <p>合格者発表 令和5年11月15日(水)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年7月下旬</p> <p>請求方法は、38～40ページを参照してください。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>
経済科学部 総合経済学科	若干人	<p>令和6年4月1日現在において23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校を卒業した者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） 	<p>大学入学共通テストを免除し、小論文及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水) ～11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年11月18日(土)</p> <p>合格者発表 令和5年12月14日(木)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年7月下旬</p> <p>請求方法は、38～40ページを参照してください。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
医学部 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	若干人 若干人 若干人	<p>令和6年4月1日現在において23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校を卒業した者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） 	<p>大学入学共通テストを免除し、小論文、面接及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間 令和5年11月1日(水)～11月6日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 令和5年11月24日(金)</p> <p>合格者発表 令和5年12月14日(木)</p> <p>学生募集要項の公表 令和5年7月下旬</p> <p>請求方法は、38～40ページを参照してください。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>

4 2 段階選抜

入学志願者数が募集人員に対して一定の倍率を超えた場合、2段階選抜を実施することがあります。第1段階選抜は学部・学科等が指定する下記の選抜方法により行います。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者についてのみ個別学力検査等を行います。

第1段階選抜の方法

学部・学科	入試種別	選抜方法	
経済科学部 総合経済学科	総合型選抜	<ul style="list-style-type: none"> 入学志願者数が募集人員の1.5倍を上回る場合には、2段階選抜を実施することがあります。 第1段階選抜は書類審査により行い、その合格者に対して小論文・面接（集団討論）試験を実施します。 	
医学部医学科	一般選抜 (前期日程)	<ul style="list-style-type: none"> 入学志願者数が募集人員の4倍を上回り、個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、2段階選抜を実施することがあります。 第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により行い、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。 	
工学部工学科	総合型選抜	<ul style="list-style-type: none"> 入学志願者数が各プログラムの概ねの募集人員の2倍を上回る場合には、2段階選抜を実施することがあります。 第1段階選抜は書類審査により行い、その合格者に対して小論文・面接試験を実施します。 	
創生学部 創生学修課程	総合型選抜	理系科目 選択型	<ul style="list-style-type: none"> 入学志願者数が概ねの募集人員の4倍を上回る場合は、2段階選抜を実施することがあります。 第1段階選抜は書類審査により行い、その合格者に対して講義に関する課題レポート及び面接を実施します。
		文系科目 選択型	<ul style="list-style-type: none"> 入学志願者数が概ねの募集人員の4倍を上回る場合は、2段階選抜を実施することがあります。 第1段階選抜は書類審査により行い、その合格者に対して講義に関する課題レポート及び面接を実施します。

※上記に記載のない学部・学科、入試種別については2段階選抜を行いません。

ただし、理学部理学科の総合型選抜では、入学志願者数に関わらず、選抜を2段階で行います。（第1次選抜はプレゼンテーション及び口頭試問等により行い、第2次選抜は第1次選抜合格者を対象に大学入学共通テストの成績により行います。）

5 学生募集要項の公表

(1) 公表予定時期

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| ①一般選抜学生募集要項（前期日程、後期日程） | 令和5年11月下旬 |
| ②総合型選抜学生募集要項 | 令和5年6月上旬 |
| ③学校推薦型選抜学生募集要項 | 令和5年8月上旬 |
| ※医学部医学科学部学校推薦型選抜学生募集要項については11月公表予定 | |
| ④帰国生徒特別選抜学生募集要項 | 令和5年11月下旬 |
| ⑤私費外国人留学生特別選抜学生募集要項 | 令和5年11月下旬 |
| ⑥帰国生徒（令和6年10月入学）特別選抜学生募集要項 | 令和6年6月下旬 |
| ⑦社会人特別選抜学生募集要項 | 令和5年7月下旬 |

①～⑥の学生募集要項は、紙媒体での配布は行っておりません。電子ファイルにて本学ホームページ上に公表します。


(2) 請求方法

① 新潟大学受験生特設サイトから請求する方法

「新潟大学受験生特設サイト」(URL: <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>) から、株式会社フロムページのテレメール及び大学情報センター株式会社の「モバっちょ」を利用した資料請求ができます。

② 株式会社フロムページのテレメールで請求する方法

ア) 以下の URL にアクセスし請求してください。

インターネット			
https://telemail.jp/	人文・教育 法・経済科学部 資料請求 バーコード		理・医・歯 工・農・創生学部 資料請求 バーコード

イ) 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。発送開始日以前でも請求受付は可能です。

資 料 名	資料請求番号	料 金	発送開始日
大学案内	562762	215円	5月上旬
社会人特別選抜（人文学部）学生募集要項	583092	180円	8月上旬
社会人特別選抜（経済科学部）学生募集要項	543092	180円	
社会人特別選抜（医学部保健学科）学生募集要項	563182	180円	

注意事項

- ・ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一齐に発送します。
- ・ 資料は通常、発送日のおおむね3～5日後にお届けできます。お届け先地域や郵便事情によってはお届けに1週間ほど要する場合があります。
- ・ 随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
- ・ 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
- ・ 料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay, au PAY）」「携帯キャリア払い」「PayPay」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払い時に手数料として、コンビニ払いとスマホアプリの請求書支払いは118円、携帯キャリア払い、PayPay、クレジットカード払いは30円が別途必要です。携帯キャリア払い、PayPay、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金を同時に支払うこともできます。
- ・ 資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- ・ 請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。

※テレメールで請求した場合のお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター IP 電話：050-8601-0102（9:30～18:00）
（株式会社フロムページ）

③ 大学情報センター株式会社の「モバっちょ」で請求する方法

以下の URL にアクセスし請求してください。



<https://djc-mb.jp/niigata-u3/>



・ 大学案内：250円

ア) 請求時払い

携帯電話、スマートフォン、クレジットカード払いができます。（支払手数料は別途50円必要です。）

※携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料

金と一緒に支払いできない場合があります。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

イ) 後払い

資料到着後、コンビニエンスストアでお支払いください。(支払手数料は別途126円必要です。)

※料金は変更となる場合があります。

※モバっちょで請求した場合のお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター IP 電話：050-3540-5005 (平日10:00~18:00) (大学情報センター株式会社)
--

6 私費外国人留学生特別選抜

(1) 出願資格

本学の私費外国人留学生特別選抜に出願できる者は次の(ア)~(ウ)をすべて満たす者です(2024年3月31日までに該当見込みの者も含みます)。

人文学部、経済科学部、理学部、工学部、農学部の志願者は(ア)~(ウ)に加えて、(エ)も満たす必要があります。

(ア) 日本国籍を有しない者

(イ) 次の①~③のいずれかを満たす者

① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、フランス共和国におけるバカロレア資格又はGCEAレベル資格を有する者

③ 外国において、国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者

(ウ) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験(2022年度第1, 2回又は2023年度第1, 2回)を受験した者

※(イ)①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「**外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者**」を指します。卒業した学校が正規の教育課程に当てはまるかどうかは当該国の大使館にお問い合わせください。

※(イ)①の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」とは以下のいずれかに該当する者を指します。

- ・外国における12年の課程修了相当の学力試験に合格した者で18歳以上の者。
- ・外国における高校に対応する学校の課程(12年未満)を修了し(学力認定試験の合格を含む)文科大臣が指定した準備教育課程(もしくは研修施設の課程)を修了した者。
- ・文科大臣が指定したウズベキスタン、スーダン、ベラルーシ、パルー、ミャンマー、ロシア又はウクライナの課程を修了した者。
- ・日本において、文科大臣が指定したインターナショナルスクールの課程(12年)を修了した者。
- ・日本において、文科大臣が指定したインターナショナルスクールの課程(12年未満)を修了し、文科大臣が指定した準備教育課程を修了した者。

※外国の正規の学校教育における12年の課程を修了した者以外の者（例：修了した課程が11年だった者や修了した課程が正規の教育課程ではなかった者、①②、③に該当する者等）や出願資格について不明点がある方は出願資格の確認を行います。

詳細は42ページの「出願資格の確認」を参照してください。

(㊦) 人文学部、経済科学部、理学部、工学部、農学部の志願者のみ

TOEFLを受験し、出願時に Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report のオリジナルを提出できる者

TOEFLの形式は iBT (Home Edition を含む)、改訂版 TOEFL ペーパー版テスト (The revised TOEFL paper-delivered Test) のいずれでも構いません。

※TOEFLは2021年4月以降に受験した試験に限ります。

※上記以外の試験形式は対象としません。

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜方法は、大学入学共通テストを免除し、次表のとおりとします。

区 分	日 本 留 学 試 験						TOEFL	本学が実施する試験等	試験期日	備 考		
	日本語	総合科目	数 学	理 科							備 考	出題言語
			物理	化学	生物	科目選択						
人 文 学 部	○	○	コース1 又は 2					日 本 語	○	日本語による小論文及び面接を課します。	2月25日	入学者選抜の判定は、当該試験結果及び出願書類を総合して行います。
法 学 部	○	○						日 本 語	○	日本語による小論文及び面接を課します。	2月26日	
経 済 科 学 部	○	○	コース1 又は 2			2 科 目 自由選択	総合科目か 理科を選択	自由選択	○	数学（一般選抜（前期日程）と同一の試験問題）を課します（本要項10ページ参照）。	2月25日	
理 学 部	○		コース2			2 科 目 自由選択		日 本 語	○	一般選抜（前期日程）と同一の試験を課します（本要項11ページ参照）。 日本語による面接を行います。	2月25日 26日	
医 学 部	○		コース2			2 科 目 自由選択		日 本 語	○	一般選抜（前期日程）と同一の試験を課します（本要項12ページ参照）。 日本語による面接を行います。	2月25日 26日 27日	
	○	○	コース1 又は 2			2 科 目 自由選択	総合科目か 理科を選択	自由選択	○	日本語による小論文及び面接を課します。 （英語圏以外の国の志願者に対しては、 簡単な英語の学力を検査する場合があります。）	2月25日	
歯 学 部	○		コース1 又は 2			2 科 目 自由選択		自由選択	○	一般選抜（前期日程）と同一の試験を課します（本要項13ページ参照）。 なお、面接は日本語により行います。	2月25日 26日	
工 学 部	○		コース2			2 科 目 自由選択		自由選択	○	面接（日本語による）必須	2月26日	
農 学 部	○		コース2			2 科 目 自由選択		自由選択	○	一般選抜（前期日程）と同一の試験を課します（本要項14ページ参照）。 日本語による面接を行います。	2月25日 26日	

(注) 1 ○印は、当該試験を課することを示します。

2 経済科学部、理学部、医学部（医学科）、歯学部（歯学科）、農学部では、一般選抜（前期日程）と同一の試験問題を課しますが、一般選抜とは別の基準により判定します。

3 入学後の履修については、特別の措置は行いません。

(3) 募集人員

各学部とも若干人

(4) 出願期間

令和6年1月22日（月）から1月25日（木）（必着）

(5) 合格者の発表

令和6年3月8日（金）

(6) 学生募集要項の公表

私費外国人留学生特別選抜学生募集要項は、令和5年11月下旬に本学ホームページ上で公表予定です。

7 出願資格の確認

「私費外国人留学生特別選抜」で出願する者のうち「外国において学校教育における12年の課程を修了していない者」, 「出願資格について確認がある者」または「帰国生徒特別選抜」に出願する者は, 出願資格の確認をする必要がありますので, 次の書類等を, 令和6年1月9日(火)までに提出してください。

なお, 帰国生徒特別選抜(令和6年10月入学)に出願を希望する者は, 別に公表する学生募集要項に定める期日までに提出してください。

(1) 出願資格の確認に必要な書類等

- ① 「新潟大学帰国生徒特別選抜, 帰国生徒特別選抜(10月入学), 私費外国人留学生特別選抜出願資格確認書」
……………本要項に添付の所定様式を印刷し提出して下さい。
- ② 卒業(修了)証明書のコピー又は同見込証明書
……………最終出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の証明書を提出してください。
必ず日本語訳を添付してください。
- ③ 日本留学試験成績確認書の写し(私費外国人留学生特別選抜のみ)
……………日本留学試験(2022年度(第1回又は第2回)又は2023年度(第1回又は第2回)実施のいずれか)の成績確認書の写しを提出してください。
- ④ 「返信用封筒」
……………長形3号封筒(120mm×235mm)に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し, 84円(速達は344円)分の切手を貼ったもの。
なお, 配達先が外国の場合は, 航空便書状25g相当の国際返信切手券(International Reply Coupon)を同封してください。

(2) 提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学学務部入試課 電話(025)262-6079

8 入試情報の提供及び開示

- (1) 過去の入学試験の結果及び「合格者最高点」, 「合格者最低点」(合格者最低点は一般選抜のみ), 「合格者平均点」, 並びに, 令和6年度入試に関する「採点・評価基準」及び「合否判定基準」については, 新潟大学ホームページ(<https://www.niigata-u.ac.jp/>)の「受験生特設サイト」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)で公開しています。
- (2) 受験者本人の試験成績の開示方法については, 各選抜区分の学生募集要項をご覧ください。

・帰国生徒特別選抜
 新潟大学 ・帰国生徒特別選抜(10月入学) 出願資格確認書
 ・私費外国人留学生特別選抜

(↑出願希望の選抜を○で囲んでください。)

フリガナ		性別	志望学部	志望学科・課程
氏名		男・女		
生年月日	年 月 日生 (歳)		学部	学科
国籍				課程
帰国年月日(帰国生徒のみ)		20 年 月 日 帰国後 年 月		
渡日年月日(私費外国人留学生のみ)		年 月 日		

本 人 連 絡 先	住所 〒 電話番号 () - 携帯電話 () -	Fax () -	E-mail:
日本国内 の連絡先 (必須)	住所 〒 電話番号 () - 携帯電話 () -	Fax () -	E-mail:

出願資格 (学歴)	区 分		学 校 名	学校所在国名	規 定 の 修業年限	在 学 期 間	
						入学年月～卒業(修了)等年月	在学年・月数
	初等教育	小学校			年制	19 20 年 月～ 年 月	年 月
		中学校				年 月～ 年 月	年 月
	中等教育	高校				年 月～ 年 月	年 月
高等教育		大学				年 月～ 年 月	年 月
そ の 他						年 月～ 年 月	年 月
	国際バカロレア資格取得		資格取得年月			年 月	
	アビトゥア資格取得		資格取得年月			年 月	
			資格取得年月			年 月	

私費外国人留学生出願資格確認者のみ記載してください。	日本留学試験受験番号 (2022年度又は2023年度)	TOEFL 受験番号及び受験年月日 (人文, 経済, 理, 工及び農学部のみ)

職 歴	勤 務 先 等	在 職 期 間
		就職年月～退(離)職年月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月

特記事項	[学歴の飛び級等特別な事情がある場合は、ここに記載してください。 帰国生徒特別選抜で、保護者の海外勤務等の事情による者に限ることを出願資格としている学部に出願する者は、保護者の滞在期間、在留地等を記載してください。]
------	---

問い合わせ先一覧

入学者選抜要項に関するご質問等について

区 分	担 当 係	電 話 番 号
学務部入試課	入試企画係	(025)262-6079

特別選抜の詳細について

五十嵐キャンパス

(所在地)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

区 分	担 当 係	電 話 番 号
人文学部	人文学部学務係	(025)262-6281
教育学部	教育学部学務係	(025)262-7096
法学部	法学部学務係	(025)262-6283
経済科学部	経済学部学務係	(025)262-6284
理学部	理学部学務係	(025)262-6106
工学部	工学部学務係	(025)262-6709
農学部	農学部学務係	(025)262-6605
創生学部	創生学部学務係	(025)262-6998

旭町キャンパス

(所在地)

医学部医学科 〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地

医学部保健学科 〒951-8518 新潟市中央区旭町通2番町746番地

歯学部 〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地

区 分	担 当 係	電 話 番 号
医学部医学科	医学部医学科入試・臨床実習係	(025)227-2015
医学部保健学科	医学部保健学科学務係	(025)227-2357
歯学部	歯学部学務係	(025)227-2798